

2022. 1. 1

埼玉県商工会議所連合会会長
さいたま商工会議所会頭
池田 一義

年頭のご挨拶

皆様 明けましておめでとうございます。旧年中は商工会議所の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

昨年秋以降、新型コロナ感染者数が低位となり本格的な日常生活への回復が期待されました。しかしながら、オミクロン株の出現により海外で感染が拡大し、予断を許さない状況が継続しています。また、経済的には半導体不足やコンテナ船不足による物流網の混乱、そして資源価格高騰などが大きく影響をもたらしました。

そのような中においても本年は、感染予防と経済活動をより実効性の高いものへと進化させて、日本そして埼玉の本格的な再生に力を尽くしていきたいと思っております。

政府は、「新しい資本主義」を掲げ「成長と分配の好循環」を目指しています。特にコロナ禍で明らかになった社会課題の解決と経済成長を、車の両輪として実現していくことが重要となります。少子高齢化やデジタル化の遅れ、気候変動問題などの社会課題と、低成長経済の克服、特に「一人当たり GDP」の引き上げを国全体の目標として掲げ、あらゆる分野で生産性向上と潜在成長率の底上げを行う必要があります。また我々の課題は、経済・医療安全保障、人財育成、科学技術投資、デジタル化の推進、カーボンニュートラルを踏まえたエネルギー政策など数多くあります。

商工会議所として今年の重点的な取り組みを3点挙げさせていただきます。第一は、「中小企業、零細企業の経営力の向上」です。中小企業は、過去もさまざまな変化に柔軟に対応できる潜在的な変革力を有しています。そのためにも、有力な手段としてのデジタル化は有効であり、業務効率化や業態転換といったビジネス変革、そして EC・越境 EC を通じた販路拡大など経営力向上の支援を行います。

第二に、「事業再構築を通じた付加価値の向上」です。商工会議所の伴走型支援を通じて経営相談体制を強化し、事業承継や事業の再生・再構築を後押しすることで、付加価値の創出支援を行います。コロナ禍で傷ついたバランスシートを見直すとともに、今一度事業の再点検と今後の成長に何が必要かを考え、自ら変革する強い意識を持ち、そして変革への挑戦をしていただきたいと思います。

第三に、「さいたま」の魅力を高め、スタートアップ企業の支援や行政のDX化への対応など、地域価値の創造に向けて力を入れて参ります。創業支援や企業立地などの需要創出や「デジタル田園都市国家構想」と呼応して、地元さいたまの価値創出に努めて参ります。

当商工会議所は昨年4月から3か年の「第5次中期ビジョン」がスタートしました。会員の皆様の変革のサポートを全力で取り組むとともに、会員で良かったと実感できる商工会議所を目指して参ります。

結びに、皆様のご事業のご発展と皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

以上